

平成30年度診療報酬・介護報酬改定における

“加算同時算定” セミナーをどこよりも早く開催致します。

平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定では、医療と介護の連携が色濃く打ち出されています。これからは一方の報酬を見るだけでなく、双方の報酬に目を向けwin-winの関係を築かなければなりません。今回の改定では、連携して共通項目がクリアできれば加算が同時に算定可能、諸要件の緩和など新たな仕組みが導入されます。本セミナーでは、第一部で共通項目を整理し、第二部でリハビリテーションを軸に医療と介護の連携の実践例をご説明します。今後の経営や現場運営のヒントにして頂ければと思います。

対象

医療施設、通所リハ、訪問リハ、訪問看護、訪問介護、(地域密着型、認知症対応型)通所介護、短期入所生活介護、グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、(地域密着型)特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、(地域密着型)特定施設入居者生活介護、介護支援専門員及び理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など

第一部

13:30~15:30

平成30年度診療報酬・介護報酬改定の

“共通項目”の見える化

～医療・介護は連携して加算を算定する運命共同体～



講師:共創未来メディカルケア(株) 代表取締役

宮野 茂

社会福祉法人うらら 副理事長

北区介護保険運営協議会 地域密着型委員会 副会長
東京都主任介護支援専門員実務従事者研修講師 など
全国各地で講演活動を行っている。主な著書として「デイサービスセンターの開発・運営マニュアル」「医療・シニア施設のデュレリジェンス資料集」(共に総合ユニコム)がある。

- ・関係機関の連携強化に向けた退院時共同指導料の見直し(介護支援専門員)
- ・特別の関係、入退院時の連携強化(介護支援専門員)
- ・訪問診療の主治医とケアマネジャーの連携強化
- ・有床診療所の地域包括ケアモデル(医療・介護併用モデル)での運用支援
- ・特別養護老人ホーム等におけるターミナルケアの評価の見直し
- ・介護医療院の創設に伴う対応
- ・入退院(所)時の医療機関等と訪問看護との連携
- ・喀痰吸引等を実施する介護職員等との連携の推進
- ・都内特別区医師会でのICTによる医療介護連携実践例 など

第二部

15:40~17:40

「生活を元気づける支援の実践のための

リハビリテーションの活用」

～診療・介護報酬改定からみるリハ・ケアのあり方～



講師:医療法人社団東北福祉会

介護老人保健施設せんだんの丘 通所リハビリテーション

二木 理恵 先生

作業療法士、介護支援専門員、MTDLP指導者

平成22年度より日本作業療法士協会の生活行為向上マネジメント(MTDLP)研究事業に参加。現在はMTDLP指導者として各地で生活行為向上リハビリテーションの講演、普及活動を行っている。主な著書として「作業の捉え方と評価・支援技術」(医歯薬出版(株))等がある。

- ・医療と介護の連携に資するリハビリテーション計画書の様式等の見直し
- ・介護サービス事業者⇄外部リハ専門職双方のアプローチ方法について
- ・平成30年度診療・介護報酬改定からみるリハビリ、求められる支援のあり方
- ・切れ目のないケアの実践としての医療・介護間の連携
- ・介護報酬上の生活機能向上連携加算
- ・リハビリテーション専門職の活用と連携するためのポイント
- ・活動・参加を支援する生活機能向上マネジメント
- ・リハビリテーションと他サービスとの連携事例の紹介 など

開催日

平成30年 **3月2日(金)**
13:30~17:40

※ 17:40~18:00講師と名刺交換の時間を設けます

会場

共創未来メディカルケア(株) 2F研修センター

東京都新宿区上落合2-26-3

最寄駅:東西線落合駅4番出口より徒歩1分

西武新宿線・都営大江戸線中井駅より徒歩7分

参加費

お一人様
11,000円
(振込)

申込FAX: 03-3360-6712 (御申込受領後、受講票をFAXで送ります。参加費用の振込口座は、受講票に明記しております)

団体名				TEL			
住所				FAX			
				E-mail			
参加者名	所属	役職	参加者名	所属	役職		